

変幻する青 チューバ四重奏、深化の第二章。

TUBASSADORS JAPAN TOUR

BLUE

2025 2026

11.21	大 阪	フェニーチェ堺 小ホール
11.22	愛 知	電気文化会館 ザ・コンサートホール
01.17	東 京	豊洲文化センター ホール
01.31	石 川	金沢市アートホール
02.28	神奈川	みどりアートパーク
03.27	香 川	サンポートホール高松 第1小ホール
03.28	岡 山	岡山大学 Junko Fukutake Hall 
05.02	静 岡	札の辻 クロスホール 
05.15	山 口	下関市生涯学習プラザ 風のホール
05.16	福 岡	福岡市民ホール 小ホール 
05.30	長 野	長野市芸術館 リサイタルホール (B2階) 

19時開演  公演は14時開演

※開場時間は特設サイトをご確認ください。

全席自由 ■一般 4,000円 ■U24 2,000円

G.ガーシゴウエン (岡部 圭亮編)

Rhapsody in Blue

L.プリマ (鈴木 瑠子編)

伊藤 翼

Sing, Sing, Sing E.F.F.F.

石川 亮太

高橋 宏樹

藍に染まるころ 1ダースの翼

葛西 竜之介

メタモルフォセス ~ チューバ四重奏のための

鈴木 瑠子

A Dewy Morning

東海林 修

Disco Kid

予約・詳細

特設サイト



TUBASSADORS

経歴様々なプロのチューバ奏者4人によるアンサンブルユニット。2020年に開設したYouTubeチャンネルでは、チューバのための作品からアニメソングまで幅広いジャンルの演奏動画を多数公開し、業界トップの登録者数と再生数を誇る。企画、編曲、撮影、編集、デザインをメンバー自身で手がけ、演奏だけでなくクリエイティブでユーモアたっぷりのチャンネル運営を信条に毎週更新中。2022年からはコンサートの企画を本格的に開始し、主催・出演した多くの公演で満席や立ち見を記録。2023年夏には日本5大都市を巡るツアーを自主開催し、追加公演も合わせ延べ900人以上を動員。チューバのアンサンブルとしては異例の注目を集める。2023年、ITEA国際チューバ・ユーフォニアム協会主催の演奏動画コンテスト『Tuba Plus』において優勝次点のHonorable Mentionを受賞。また、これまでに10を超えるオリジナル楽曲を発表しており、チューバの可能性を追求する創作活動にも力を入れている。2023年末には1stアルバム制作のためのクラウドファンディングで300万円強を集め、2024年5月に1stアルバム「ADVENTURE」をリリース。2024年夏には全国10箇所を巡るレコ初ツアーを開催し、延べ1250人以上を動員。2025年春にはMUZAランチタイムコンサートに出演（於：ミューザ川崎シンフォニーホール）。2025年11月に2ndアルバム「BLUE」をリリース。Brass Lab. MOMOから販売中のオリジナルマウスピース【TUBASSADORS Model】は、多くの奏者に愛用されている人気商品。Mouton Library(ムートン・ライブラリ)協力のもとオリジナル譜やアレンジ譜の出版も行っている。インターネットとライブシーンの両面で高いパフォーマンスを目指し、音楽ジャンルも国境も超えた“TubaのAmbassador”として精力的に活動中。



西部 圭亮

Keisuke Nishibu

東京都出身。東京学芸大学教育学部中等教育教員養成課程音楽専攻をチューバで卒業。同年、Sergio Carolino氏の推薦により、ポルト高等音楽芸術院(ポルトガル)チューバ専攻へ1年間留学。ポルト国立交響楽団に客演。日本へ帰国後フリーランスとして活動、読売日本交響楽団を始め、国内オーケストラへ客演。2020年より世界で2人目の管楽器調律師として活動し、音に特化した調整技術について数々のプロ奏者から好評を博す。2024年より管楽器調律師TOKYOの代表となる。アレンジャーとしては低音同族楽器に特化した編曲技術により、チューバの可能性を追求するチューバサターズの活動を支える。第12回日本Jr管打楽器コンクールチューバ部門銀賞(金賞無し)。第20回コンセール・マロニエ21 金管楽器部門入選。第3回J.E.T.A.学生ソロコンクール第2位。これまでにチューバを渡辺功、山本訓久、Sergio Carolino、次田心平の各氏に、室内楽をSergio Carolino、Nuno Martinsの各氏に師事。



鹿田 一斗

Kazuto Shikada

東京都出身。2015年洗足学園音楽大学卒業。2019年チューリッヒ芸術大学大学院卒業。チロル祝祭管弦楽団2016、アスペン音楽祭2017、Pacific Music Festival 2018、2021 メンバー。チューリッヒ歌劇場管弦楽団、ビール歌劇場管弦楽団の元研修生。チューバをAnne Jelle Visser、次田心平、Roger Bobo、Steve Rosse、Warren Deckの各氏に師事。



田村 相円

Soen Tamura

1997年米テキサス州生まれ。山口市立小郡中学校、就実高等学校を経て国立音楽大学を首席で卒業、矢田部賞を受賞。東京藝術大学大学院修士課程を修了。チューバを池田幸広、佐藤和彦、近藤陽一の各氏に師事。室内楽を齋藤充、安東京平の各氏に師事。またØystein Baadsvik、Roger Bobo、David Zambonの各氏に指導を受ける。第36回ヤマハ管楽器新人演奏会、第90回読売新人演奏会、令和元年度音楽大学卒業生演奏会（皇居東御苑内桃華楽堂）に出演。第4回JETA学生ソロコンクール3位受賞、第36回日本管打楽器コンクール入賞(5位)、第24回コンセールマロニエ21 金管楽器部門入選。現在フリーランスのチューバ奏者として国内主要オーケストラへの客演などの音楽活動を行う。演奏会の広告物やWebデザインを手掛ける「サボ音(サボオト)」の代表も務めておりクリエイターとしての活躍は多岐に渡る。



淋 智博

Tomohiro Sosogi

埼玉県深谷市出身。16歳からチューバを始める。2005年 武蔵野音楽大学入学。入学前より佐藤潔に師事し、2年次よりRoger Boboの門下生となる。2009年武蔵野音楽大学卒業。同大学卒業演奏会出演。同年チューリッヒ(スイス)へ渡り、Anne Jelle Visserに師事する。2011年 チューリッヒ芸術大学院コンサート科修了。2013年 同大学院オーケストラ科修了。2つの修士号を有する。在学中、チューリッヒ歌劇場管弦楽団(現フィルハーモニア・チューリッヒ)及びベルン交響楽団にて研修生として務める。修了後もスイスで演奏活動を続け2016年に帰国。合計7年の留学で上記楽団の他、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団、ザンクト・ガレン交響楽団、ムジーク・コレギウム・ヴィンタートゥアなど数々のプロオーケストラに客演し経験を積む。埼玉県に住み活動する傍ら県内の中学・高校にて音楽講師としての業務にも従事している。